

広々とした廊下と明るく開放感ある教室



市では初めて体育館に隣接して併設された児童ホーム



小林市長が開校宣言



市内で30番目
公津の杜小学校が開校

平成小学校からの分離校として建設が進められていた公津の杜小学校が完成し、4月5日、開校式が行われました。市内で30校目の小学校となった同校は、2階建てで屋内運動場には児童ホームが併設。図書室とコンピュータ室を合わせた特別教室（メディアセンター）や多目的ホールなど、多様な学習環境に対応できる設計です。また、10日には入学式が行われ、93人の新入生を含めた全校児童426人がそろう新学期がスタートしました。

市内の小・中学校で入学式
希望に胸ふくらませて

市内の公立小・中学校40校で、4月5日から10日にかけて平成18年度入学式が行われました。ことしの新入生は小学校1,193人、中学校1,052人、合わせて2,245人。体と同じくらいのランドセルやちょっぴりゆとりのある学生服姿が初々しく、緊張気味の式典が終わるとすぐに新しい友達とおしゃべりをしていました。



誓いの言葉を力強く述べる下総中学新入生代表



14人の新入生を迎えた桜田小学校は珍しい制服姿

「黄色い手提げ袋」の大護摩修行
新入学児童1,240人分の交通安全を祈願

桜も咲き始めた3月28日、市内の小学校に入学する全児童に配布される「黄色い手提げ袋」の大護摩修行が新勝寺大本堂で行われました。この袋は、児童の交通事故防止に役立ててもらおうと、地元の米屋株式会社が昭和44年から配布しているもので、中には親子2代でもらった人も。ことしは下総・大栄地区の小学校も加わった31校1,240人の新入学児童に配られました。



大護摩修行された黄色い手提げ袋



小林市長、岩澤市議会議長らによるテープカット



市消防音楽隊を先頭に歩き初め



都市計画道路郷部線開通

JR・京成成田駅周辺のアクセスが大幅に改善

成田駅周辺の市街地分断の解消を目指し工事が進められていた郷部線。未完成区間だった国道51号線不動ヶ岡地先・成田ニュータウン加良部間が完成し、4月1日、待望の開通式が行われました。テープカット、くす玉割りなどのセレモニー後、本町女人講の皆さんによる成田のおどり花見が式典に花を添え、最後は参列者一同が歩き初めを行いました。この道路の完成によりJR成田駅西口から市役所や京成成田駅東口へのアクセスが格段に改善されました。

新成田市人口当てクイズ 惜しくも一人違いで 「ちかかったで賞」

小林市長から賞品の授与を受ける吉川さん



3月27日の新成田市誕生を記念し実施した「人口当てクイズ」。正解は120,237人。1,160件の応募の中から「ぴったり賞」は該当者がなく、一人違い(120,238人)で吉川好江さん(並木町)が「ちかかったで賞」に。なお、「おしかかったで賞」は正解に近い順に20人の皆さんに記念品を贈呈しました。

駅の構内でキャンペーン活動する向台小児童



春の交通安全キャンペーン 向台小学校の児童が一日駅長



一日駅長の野尻麻衣さんが事故防止を訴える

春の交通安全運動におけるPR活動の一環として向台小学校の児童17人が、4月8日、京成成田駅で「一日駅長」を務めました。植草駅長から一人ずつ辞令やタスキなどを受け取ると、駅長室で事故防止を訴える構内放送やホームでの安全確認作業、普段見ることのできない券売機の裏側や運行システム連動盤なども見学。終了後、改札口周辺などで利用客にティッシュやチラシなどを配布しながら交通安全・事故防止を熱心に訴えました。